

2026年度
二松学舎大学
日本語・日本学特別プログラム

募 集 要 項



二松学舎大学

目 次

日本語・日本学特別プログラムの趣旨	・・・	P.2
二松学舎大学沿革		P.3
日本語・日本学特別プログラムの概要	・・・	P.3 ～ P.5
○履修可能な科目について		
○学年暦(予定)について		
○応募方法について		
○費用(授業料やその他の経費)について		
ビザ		P.6
保険		P.6
来日時の出迎えサービス		P.6
校舎		P.6
宿舎		P.7
キャンパスライフ		P.8
アルバイト(資格外活動)について		P.8
よくある質問		P.8
問い合わせ先		P.9

日本への入国制限措置の状況により、入国時期、開始時期、プログラムの内容、期間等は安全上の配慮から変更されることがありますことをご了承ください。

日本語・日本学特別プログラムの趣旨

日本語・日本学特別プログラムは、二松学舎大学の留学生向けのプログラムとなり、文学部と国際交流センターが教育デザインした、日本語と日本文化を学ぶプログラムです。文学部と協定を結んだ海外の大学に在学している日本語や日本文化を専攻している学生が主な対象で、本学の九段キャンパス（東京都千代田区三番町）にて一年間のカリキュラムが用意されています。留学生が、日本語能力を高めるとともに、日本文化や現代社会についての知識を手に入れ、国際人として活躍できる人材を養成することを目標としています。

二松学舎大学沿革

二松学舎大学は、1877（明治 10）年 10 月 10 日、三島中洲が私邸で漢学塾を開いたことに始まります。明治維新によって、新しい時代の扉を開いた日本の未来を担うことができる、真に優れた人材を育てること、それが三島中洲の願いでした。

以来 145 年、二松学舎大学は「育英」という建学精神のもと、学問への変わらぬ情熱と広く世間を見る目を育て、いつの時代にもその時代に即した優秀な人材を社会に送り続けています。

日本人のアイデンティティの確立を目指し、漢学塾「二松学舎」を設立した三島中洲。単なる知識だけではなく、実際に社会で役立つ、「実学」を尊ぶその精神は、時を超え、日本を支えた多くの卒業生等によって脈々と受け継がれています。

〔創立者〕 三島中洲（1830～1919）

現在の岡山県倉敷生まれ。11 歳から学問を志し、14 歳で儒学者山田方谷の門に入り陽明学を学んだ。明治維新後、新政府の命により上京、新治裁判所長、大審院判事（現在の最高裁判所判事）を務めた。1877 年、官を辞し「漢学塾二松学舎」を創設。多くの子弟を育成し、漢学・東洋学の発展に尽力した。のちに東京高等師範学校教授・東京帝国大学文科教授、東宮御用係、宮中顧問官を歴任した。

日本語・日本学特別プログラムの概要

日本語・日本学特別プログラムは、二松学舎大学と協定締結をしている大学に在籍する学生を対象にしており、日本の文化と日本語を学ぶことができる一年間の特別なプログラムです。高品質な学習プログラムと日本の首都、東京の大学での留学体験を通じて、現在の日本について深く理解することができます。

受講科目は、九段キャンパスで開講されます。日本語科目と大学学部 of 授業を履修することができます。日本人学部生と一緒に文学部の正規科目を受講できます。日本の大学院に進学を希望する学生には、本学の教授が出願する際の小論文の書き方など学修の個別指導を行います。

将来日本で就職を希望する学生には、日本企業のインターンシップや就職説明会の情報を提供しています。

○履修可能な科目について

文学部にて一般開講する専門科目および留学生対象の日本語科目を履修します。あらかじめ履修する科目は指定されています（一部変更可）。具体的な開講科目の詳細や時間割については、来日後お知らせいたします。

履修科目数は、原則 8～10 科目となります。なお、著しく少ない履修科目数（7 科目以下）は、在留資格（留学）に適さないため、在留資格の取り消し（帰国勧告）になる可能性があります。原則通りの履修科目数をお勧めします。

原則、年間（2 学期分）の履修を 1 学期開始時に決めます。

○2026 年度学年暦(予定)について

二松学舎大学は、4 月から授業が始まり、2 学期制となっています。来日の日程や来日後の具体的な日程は追ってお知らせします。授業期間等は以下の通りです。

実施期間：2026年4月から2027年3月。入国制限措置等により入国できない場合は、本プログラムは中止となります。

[春学期（第1学期）] 4月06日～8月01日

授業期間： 4月06日～7月25日

試験期間： 7月13日～8月01日

夏期休暇： 8月02日～9月13日

[秋学期（第2学期）] 9月14日～1月30日

授業期間： 9月14日～1月23日

試験期間： 1月08日～1月30日

冬期休暇： 12月25日～1月07日

〇応募方法について

1. 応募条件

原則、本学文学部との交換留学制度に関する協定を結んでいる海外大学の学部在籍しており、日本語能力試験 N1 取得者あるいは同程度の日本語学習経験（600 時間）のある者。

応募書類

(1) 写真（3 cm × 4 cm） ※アップロード用の画像データ

(2) パスポート ※アップロード用の画像データ

(3) 推薦書（※在籍大学教員の署名が必要です）

※以下のいずれかの推薦書を準備してください。

推薦書①：N1 に合格している学生の推薦書となります。

推薦書②：N1 にまだ合格していないが、本学の文学部授業を受講するだけの能力がある学生に、在籍大学教員がその能力を証明する資料です。

(4) 誓約書

(5) 志望理由書

(6) 健康診断証明書

(7) 所属大学での成績に関する証明書

(8) JLPT（日本語能力試験）結果（日本語能力認定書と日本語能力試験認定結果及び成績に関する証明書の2通）

※(3)推薦書、(4)誓約書、(5)志望理由書、(6)健康診断証明書は、申込サイト（2. 応募手続き参照）から所定の様式をダウンロードしてください。

2. 応募手続き

(1)～(8) の応募書類を準備の上、以下サイト内の申込サイトから応募してください。

サイト：www.nishogakusha-u.ac.jp/international/d2_1.html

申込サイトは上記ページ中ほどの「交換留学・特別プログラム」にあります。

「二松学舎大学のトップページ (www.nishogakusha-u.ac.jp) ▶留学・国際交流▶留学制度について（海外から二松学舎大学へ）▶交換留学・特別プログラム」からもアクセス可能。

3. 応募締切り

2025 年 11 月 13 日（木）

※何らかの事情により、締切り日に間に合わない場合、在籍大学の教職員から本学へ、メールで連絡してください（メールアドレス：icenter1@nishogakusha-u.ac.jp）。

4. 募集定員

協定大学によって募集人数に定員があります。各大学において選考されます。

○費用(授業料やその他の経費)について

421,340 円（授業料 420,000 円、学研災保険料 1,340 円）

1. 学費の支払方法

下記「2. 払込期限」までに本学が指定する海外送金システムを利用して手続きしてください。支払い方法は、別途ご案内します。

2. 払込期限

2026 年 3 月 19 日（木）

3. その他の経費について

宿舍費、食費、通学にかかる交通費、国民健康保険料（※1）、携帯電話通信費、入国に必要な各種費用など日本で生活および入国するために必要な費用は、すべて自己負担となります。参考までに 1 年間の目安の金額を以下に記載します。

・ 宿舍費（1 名 1 室）：	700,000 円（※2）
・ 布団代：	15,000 円
・ 食 費：	480,000 円（個人差あり）
・ 携帯電話通信費：	48,000 円
・ 保険料：	24,000 円
・ 交通費：	160,000 円
・ その他：	300,000 円（個人差あり）
合 計	約 170 万円～180 万円程度

（※1）日本に 3 ヶ月以上滞在するすべての外国人は国民健康保険に加入しなければなりません。学研災保険料とは別の保険になります。

（※2）宿舍費には、部屋代以外に水道代、電気代、ガス代、Wi-Fi、寮内の施設使用料が含まれています。2026 年 4 月 1 日から 2027 年 2 月 28 日までの 11 ヶ月分の金額となります。各種感染症対策として、相部屋での入居はできません。

上記以外に渡航にかかる費用（ビザ代、往復の航空券代等）、教科書代、授業で必要な学習道具代や学外研修に行く時にかかる交通費等が発生します。すべて自己負担となります。

ビザ

本特別プログラムに参加し、日本に入国するためには、「留学ビザ」の取得が必要となります。二松学舎大学国際交流センターの指示に従って、日本大使館または領事館において「留学ビザ」の取得申請を行ってください。

保険

留学生は、来日前に母国において、日本滞在中の病気や事故、損害を補償する損害保険、健康保険、旅行保険に必ず加入してください。来日した後に、学研災保険および国民健康保険に加入するまでの間は、自己責任で前述の保険に加入してください。保険加入済みの確認ができない場合、本学への受入れを取り消す場合もあります。来日後、二松学舎大学の学研災保険、国民健康保険への加入手続きは国際交流センターがサポートします。

来日時の出迎えサービス

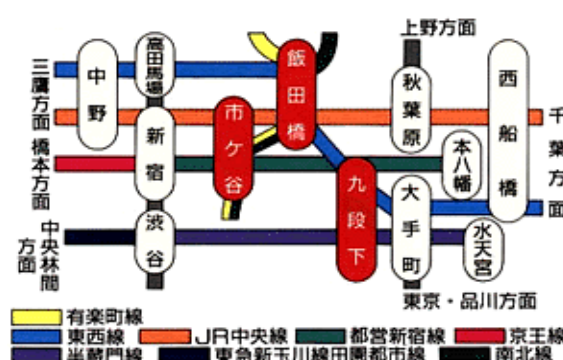
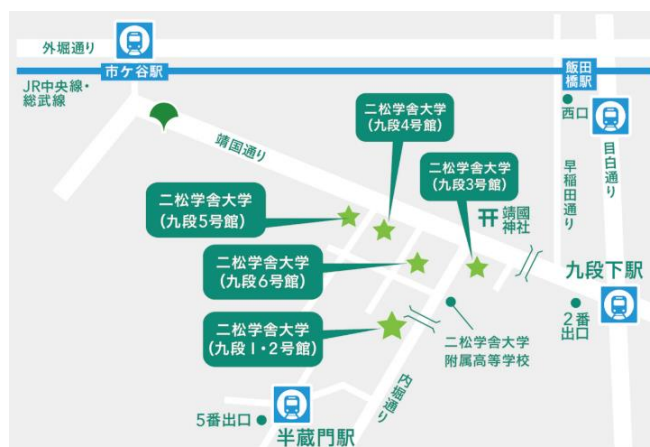
本学が指定した日程（2026年4月1日予定）で成田空港に到着する学生は、無料で空港出迎えサービスが利用できます。本学が用意したバスにて空港から宿舍まで無料で移動できます。指定した日程以外で来日する学生は、ご自身の手配で学生宿舍まで移動してください。指定日は、参加予定者に来日前に別途お知らせいたします。

校舎

二松学舎大学九段キャンパスへは下記の交通機関・アクセス情報をご利用ください。キャンパス所在地に関する詳細は、本学ホームページのMAP&アクセス (www.nishogakusha-u.ac.jp/about/campus/a7.html) をご確認ください。

◆二松学舎大学 九段キャンパス 東京都千代田区三番町 6-16

地下鉄東西線・半蔵門線・都営新宿線「九段下」駅下車、2番出口より徒歩8分
JR中央線（総武線）、地下鉄有楽町線、東西線、南北線「飯田橋」駅下車、徒歩15分
JR中央線（総武線）、地下鉄有楽町線、南北線、都営新宿線「市ヶ谷」駅下車、徒歩15分



宿 舎

本学の日本人学生をはじめ、さまざまな国籍の他大学の学生、社会人との共同生活となります。宿舎では各種国際交流イベントが行われますので、日本語、英語、中国語ほか多数の言語を使用する機会が多くあり、学外の学生や社会人との日常的な交流が可能です。指定宿舎（ソーシャルレジデンス成田）には、自習室、大型リビングルーム、ジャグジー、図書室、ジムなど施設が充実しています。周辺環境もよく、日常生活にも便利な立地です。本学九段キャンパスへは電車で乗り換えなく直通で通学可能です（乗車時間 50～60 分程度、宿舎から九段キャンパスまで 70～80 分程度）。

※宿舎費は来日前に全額（11 ヶ月分）支払います。自己都合による帰国等の途中退室では返金はありません。

宿舎施設名：ソーシャルレジデンス成田 ※変更になることがあります。

住所：千葉県八千代市村上 1941-14

URL：<https://www.oakhouse.jp/house/908>

【宿舎内の設備等について】

玄関オートロック、個室内（ベッド、エアコン、冷蔵庫、洗面台等）、共用設備（シャワー室、大浴場、トイレ、キッチン、洗濯機、乾燥機、電子レンジ、炊飯器、食器一式、Wi-Fi、自習室、娛樂室等）

※注意点 ※

◇指定宿舎以外での居住はできません。

◇原則、部屋はすべて個室となります。

◇宿舎費用は来日する前にクレジットカードで支払います。事前にクレジットカードを開設しておいてください。

◇宿舎費用は 11 ヶ月分（2026 年 4 月 1 日－2027 年 2 月 28 日）を支払う必要があります。2 月 28 日より前に退去した場合も 11 ヶ月分の宿舎費用が発生します。

◇宿舎には、本学の指導教員（RA）が居住しており、生活などの相談をすることができます。毎月 1 回、指導教員がみなさんの室内の備品の点検等を行います。空調機器、Wi-Fi 接続状況、カギの破損等、設備や困ったこと等を確認し修理対応等をおこないます。みなさんが安心して快適に生活できるようにしています。

◇個人の都合による入居後の部屋の移動（変更）はできません。

◇異性の部屋への入室は禁止です。

◇居室内は禁煙です（喫煙は、宿舎内の「喫煙室」を利用してください）。

宿舎の規則を守れない際は、プログラムを途中で終了し、帰国勧告の対象となります。

キャンパスライフ

1. 図書館
本学の学生と同様に、図書の貸し出し、閲覧ができます。
2. 国際交流行事
国際交流センターでは、留学生が参加できる交流会や懇親会などを開催しています。
3. 通学定期券
二松学舎大学は、都心に位置する大学ですので、宿舍と大学は電車で移動（通学）となります。通学用の定期券を購入することが可能です。詳しくは、来日後のガイダンスで説明します。

アルバイト(資格外活動)について

本特別プログラムを受講する交換留学生についてはアルバイト（資格外活動）を許可しております。活動についての状況（勤務先など）を、アルバイトを行う前に、二松学舎大学に届け出る必要があります。

※留学期間中に、アルバイトを計画している学生は、日本の空港に入国する時に、空港にて検査員に、「アルバイトを行う予定がありますので、在留カードに資格外活動許可をお願いします」と自分から申告してください。資格外活動許可は入国後も取得できますが、複雑な手続きが伴うため大変な時間を要することがあります。できるだけ空港で入国手続きをする時に申請してください。

よくある質問

Q：日本人学生との交流はありますか？

A：あります。外国人留学生の生活をサポートする「留学生チューター制度」を実施しており、本学の日本人学生が留学生の相談などを行いますので、交流することができます。また、宿泊施設となる国際学生寮（ソーシャルレジデンス成田）には多くの日本人学生が生活しており、イベントや歓送迎会などを通じて交流することもできます。

Q：応募締切り日までに申請書類を一部準備できないですが、申請できますか？

A：申請できます。締め切り日までには、申し込み（出願）してください。その際に準備できない書類（例：パスポートなど）をいつまでに準備できるかを二松学舎大学国際交流センターまでお知らせください。その後、準備でき次第、送付してください。

Q：履修科目数の上限と下限はありますか？（要注意）

A：原則、**8~10** 科目を履修してください。なお、**11** 科目以上の履修を希望する際は、国際交流センターの承認を得れば履修できます。なお、著しく少ない履修科目数（**7** 科目以下）の場合、在留資格（留学）の本来の目的に見合わないため、留学期間中であっても出入国在留管理局から在留資格（留学）を取り下げられる可能性があります。その際は即刻強制帰国となるため、留学を途中で中止することになります。原則通りの履修科目数を受講してください。なお、著しく少ない履修科目数による在留資格の取り下げは参加学生の自己責任となりますので、返金および本学からの配慮などは一切できませんので、十分に気を付けてください。

Q：指定された日より前に日本へ入国できますか？

A：指定日（通常は4月1日）の7日前までであれば、自身の都合で早めに来日しても構いません。指定日前から指定宿舎に入居することは保証できませんので、自身で宿泊施設を手配する必要があります。なお、入国後2週間以内に住民登録を完了する必要があるため、事務手続きの日数を考慮して7日以上前の入国はできません。

Q：指定宿舎（ソーシャルレジデンス成田）以外に居住できますか？

A：できません。交換留学生は全員、指定宿舎に入居する必要があります。学校間の協定に定められた安全確保の観点から、学生寮にはみなさんの相談に乗る指導教員（RA）が入居しており、万全の体制にて安全管理を行っております。個人の都合による他の施設の転居はできません。

Q：応募書類提出後のスケジュールを教えてください。

A：以下の予定をしています。

① 提出後～12月中旬頃

応募書類の確認を行います。不備があった場合は、応募書類に記載のメールアドレスに連絡しますので、速やかに対応してください。

② 12月中旬頃

「在留資格認定証明書」の申請を行います。

③ 2月上旬～中旬頃

「在留資格認定証明書」が交付されましたら、「受入許可書」と共に応募書類に記載のメールアドレスに送りますので、各自で留学ビザの取得申請を行ってください。

④ 2月中旬以降

みなさんが在籍する大学の交換留学担当者宛に来日に関するご連絡（出迎えサービスの詳細、宿舎や授業料等の支払い等）をしますので、各自で確認してください。

Q：成績証明書を、データではなく紙で発行できますか？

A：できません。プログラム修了後に在籍大学にデータにて送付します。

問い合わせ先

日本語・日本学特別プログラムに関するお問い合わせは、みなさんが在籍する大学の交換留学担当者、または二松学舎大学の下記担当部署までお願いします。

二松学舎大学 国際交流センター

〒102-8336 東京都千代田区三番町 6-16

TEL. +81 (0)3 3261 5751

E-mail : icenter1@nishogakusha-u.ac.jp

Web : www.nishogakusha-u.ac.jp